

令和6年度 地域研修(徳島県) 地域研修カリキュラム

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:11月11日(月)~12月19日(木)

視聴時間 受講必須:8時間 ／ 受講任意:12.3時間

 :基礎的な内容の単元

 :応用的な内容も含む単元

● :受講必須 ◇ :受講任意

区分	単元	R5 受講	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標
災害対応業務全般	1 防災行政概要	●	防災活動全体の流れについて学ぶ。	19分	鈴木 肇 (元 内閣府)	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる。
	2 災害法体系と災害対策基本法の概要	●	災害関連法の体系について学ぶ。	14分	佐々木 凜太郎 (内閣府)	・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる。
	3 防災計画の概要	●	防災関連計画について学ぶ。	15分	沖 麻未 (内閣府)	・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる。
地域の災害特性	4 地域の災害特性	●	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	60分	栗原 邦光 (徳島地方気象台)	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。
災害対策本部について	5 対策立案総論	◇	災害対応における対策立案の考え方について学ぶ。	64分	林 春男 (京都大学)	・ハリケーンサンディに学ぶ2種類の災害時業務の存在について説明できる。 ・対策立案過程について説明できる。 ・事前計画と当面の対応計画の関係について説明できる。 ・災害対応の世界標準から見た対策立案の業務範囲について説明できる。
	6 災害対策本部が行う対策立案プロセス	◇	「当面の対応計画(インシデント・アクション・プラン)」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。	56分	林 春男 (京都大学)	・災害対策本部の活動サイクルについて説明できる。 ・当面の対応計画の策定について説明できる。 ・当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理について説明できる。 ・災害対策本部会議の進め方について説明できる。
災害から命を守る	7 避難行動の概要	◇	「災害から命を守る」ための基本的な知識として、避難行動について学ぶ。	17分	牛山 素行 (静岡大学)	・避難行動の意味や分類を説明できる。 ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の意味を説明できる。
	8 風水害における警報と避難	◇	風水害における警報と避難の実務について学ぶ。	60分	高木 康伸 (国土交通省)	・風水害における警報と避難の実務について説明できる。 ・水害時における災害対応の難しさを説明できる。
応急活動・資源管理	9 応急活動・資源管理総論	◇	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	64分	宇田川 真之 (防災科学技術研究所)	・応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ロジスティクスの考え方について説明できる。 ・応急活動と求められる資源管理について説明できる。
	10 活動拠点・環境の確保	◇	応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学ぶ。	16分	金子 純二 (電気通信事業者協会)	・活動拠点・環境の確保のための事前準備について説明できる。 ・災害発生時において、応急活動を行うために求められる空間確保(道路網、活動拠点等)について説明できる。 ・災害発生時において、応急活動を行うために求められるサービスの確保(燃料等)について説明できる。
		◇		32分	富永 仁美 (全国石油商業組合連合会)	
		◇		29分	島野 敏寛 (日本水道協会)	
		◇		27分	光田 肇 (東京電力)	
	11 災害廃棄物処理の概要	●	災害廃棄物処理について学ぶ。	11分	鳥居 ほのか (環境省)	・災害廃棄物処理の概要について説明できる。
避難所の開設・運営関連	12 避難所の開設・運営の概要	●	避難所の開設・運営について学ぶ。	15分	伊藤 靖晃 (元 内閣府)	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。 ・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。
	13 避難所のライフサイクル	●	避難所のライフサイクルを学ぶ。	54分	太田 智久 (静岡県富士市)	・避難所の基本について理解する。 ・運営体制の確立～平時から実施すべき業務～について説明できる。 ・避難所の運営(発災後)について説明できる。 ・ニーズへの対応と避難所の解消について説明できる。
	14 避難所運営の実際	●	事例を基に避難所運営の実際を学ぶ。	57分	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	・避難所運営現場における課題について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の実際(全体)(環境改善)について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の課題(車中泊)(ペット対応)(運営主体)について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の実際(まとめ)について説明できる。
災害時の応援・受援関連	15 受援体制と受援計画の概要	●	災害時に行う応援受援に係る制度、受援体制の構築および受援計画の作成について学ぶ。	15分	久保田 崇史 (内閣府)	・受援体制整備の必要性について説明できる。 ・外部団体から応援を受け入れる上での心構えやポイントについて説明できる。 ・受援計画の中で整備すべき項目について説明できる。
	16 救助・捜索活動における連携の概要	●	広域消防応援体制、救助・捜索活動時の連携について学ぶ。	15分	伊藤 学 (消防庁)	・大規模災害時における広域消防応援体制を説明できる。 ・救助・捜索活動における連携の概要を説明できる。
	17 初動対応における国との連携	◇	国における初動対応の内容とその連携のあり方について学ぶ。	27分	小原 信宏 (内閣府)	・政府の初動対応について説明できる。 ・具体的な応急対策活動に関する計画について説明できる。 ・政府と被災地方公共団体との連携について説明できる。
	18 地方公共団体間の相互応援と受援体制	◇	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。	39分	豊泉 英明 (内閣府)	・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
		◇		7分	原 章仁 (内閣府)	
		◇		7分	伊藤 哲也 (総務省)	
		◇		53分	田代 崇憲 (大野城市)	

区分	単元	R5 受講	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標
物資の調達・輸配送関連	19 国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	●	救援物資の調達・輸配送の概要を学ぶ。	13分	影沼澤 稔 (内閣府)	・救援物資の調達・輸配送の概要を説明できる。
	20 救援物資の調達	◇	救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	37分	西室 幸徳 (コメリ災害対策センター)	・救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。
	21 救援物資の輸配送	◇	救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。	31分	森下 侑里香 (佐川急便)	・救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。
	22 救援物資ロジスティクス演習	◇	救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを学ぶ。	32分	内閣府 (防災デジタル・物資支援担当)	・救援物資の調達業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・救援物資の倉庫業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。 ・救援物資の輸配送業務の流れと留意点を、具体的に説明できる。
災害ボランティア	23 災害ボランティア	●	災害ボランティアの意義・役割と行政との連携について学ぶ。	15分	丸谷 浩明 (東北大)	・災害ボランティア及びその活動の位置づけ・種類・特徴を説明できる。 ・災害ボランティアの受け入れ・調整に関する現地での仕組みを説明できる。
		●		18分	栗田 暢之 (レスキューストックヤード)	・災害ボランティアの活動の実際と課題、展望を説明できる。
被災者への支援	24 災害救助法の概要	●	災害救助法の概要を理解し、被災者のいのちを守るために行う活動の概要や事前に備えておくべきことを学ぶ。	17分	阿部 嘉信 (内閣府)	・災害救助法の概要を説明できる。
	25 被害認定調査・罹災証明書の概要	●	被害認定調査・罹災証明書の概要について学ぶ。	6分	湯浅 翔 (内閣府)	・被害認定調査・罹災証明書の概要について説明できる。
	26 仮設住宅の供給の概要	●	仮設住宅の供給について学ぶ。	16分	阿部 嘉信 (内閣府)	・仮設住宅の供給の概要を説明できる。
	27 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	●	災害時要配慮者をはじめとする避難生活への支援対策を学ぶ。	43分	相馬 幸恵 (新潟県)	・地震災害を事例とした避難生活の支援について説明できる。 ・避難所運営業務における健康管理の位置づけについて説明できる。 ・在宅避難生活における健康管理について説明できる。 ・避難生活を支える保健医療体制の全体像について説明できる。
		●		48分	鍵屋 一 (跡見学園女子大学)	・福祉避難所の役割について説明できる。 ・福祉避難所が必要とされる理由について説明できる。 ・福祉避難所の概要について説明できる。 ・福祉避難所の実際と課題について説明できる。
	28 災害時の保健・医療・福祉活動と調整の概要	●	災害発生時の保健医療福祉活動の概要を学ぶ。	16分	佐々木 忠信 (厚生労働省)	・災害発生時の保健医療福祉対策の重要性を理解する。 ・災害発生時には、保健医療福祉に係る様々な団体・支援チーム等が現地支援にあたることを理解する。 ・保健医療福祉調整本部の機能・役割を理解する。
地域の防災力の向上	29 地区防災計画と住民主体の災害への備えの概要	●	地区防災計画と住民主体の災害への備えの概要について学ぶ。	14分	藤原 沙也加 (内閣府)	・地区防災計画の取組を踏まえて、住民主体の災害への備えの重要性を説明できる。
	30 地域防災計画・地区防災計画	◇	地域防災計画、地区防災計画等をどのように災害の備えに向けた活用するのかを学ぶ。	28分	山本 晋吾 (兵庫県立農林水産技術総合センター)	・地域防災計画の策定・改定について説明できる。 ・地区防災計画の策定について説明できる。
		◇		36分	磯打 千雅子 (香川大学)	
	31 地域の自主的な防災活動	◇	住民の自主防災組織の意義・役割と行政による推進策について学ぶ。	12分	丸谷 浩明 (東北大)	・自主防災組織の目的と制度概要について説明できる。 ・自主防災組織に期待される役割と現状、課題について説明できる。
		◇		61分	辻川 祐生 (北九州市消防局) 古川 裕子 (若松区東28区市民防災会)	・地域の他の自主的な防災団体の役割と現状、課題について説明できる。 ・地域の防災訓練の意義と基本的な方法について説明できる。

(2) リアルタイム研修(対面形式) 開催日:12月20日(金) 9:30~17:00 会場:徳島県庁 11階 講堂

※以下は調整中の内容を含みますため、単元の実施順など変更の可能性があります

時間	単元	単元の概要	時間 (目安)	講師等	学習目標
09:30 ~09:40	- (オリエンテーション)		10分	(事務局)	
09:40 ~09:55	1 【講義】 令和6年能登半島地震について 国としての課題認識	令和6年能登半島地震について、国の視点による課題認識や南海トラフ地震を見据えた国での議論・取組等を学ぶ。	15分	菊池 正彦 (内閣府)	・国の視点による令和6年能登半島地震の災害対応の課題や教訓を説明できる。
09:55 ~10:25	2 【講演】 令和6年能登半島地震について 災害対応の実態と課題(市町村の視点)	令和6年能登半島地震の応援経験に基づいて、市町村の視点から災害対応の実態と課題を学ぶ。	30分	中山 博之 (徳島県美馬市)	・市町村の視点による令和6年能登半島地震の災害対応の課題や教訓を説明できる。
10:25 ~11:25	3 【講義】 令和6年能登半島地震について 災害対応の実態と課題	1~2限目の講義を踏まえて、全体的な視点による令和6年能登半島地震での災害対応の実態と課題を学ぶ。	60分	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	・全体的な視点から令和6年能登半島地震の災害対応の課題や教訓を説明できる。
11:25 ~12:25	- (昼休み)		60分		
12:25 ~14:35	4 【講義+演習】 災害対策本部における対応	災害対策本部の初動期の対応、避難所開設・運営時の対応業務、物資の提供・調達・輸送における県・市町村の役割や課題を演習を通じて学ぶ。	130分	元谷 豊 (サイエンスクラフト)	・災害対策本部の初動期に取り組むべきこと、活動の優先度が説明できる。 ・避難所の生活環境の質の確保のために取り組むべき事項や備蓄(備蓄・対応力向上)の重要性が説明できる。 ・物資の提供・調達・配分・輸送について、備蓄状況を踏まえた被災者への対応、物資調達に向けた対応、県・市町村の立場と課題、事前の取組みの重要性を説明できる。
14:35 ~14:55			20分	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	
14:55 ~15:05	- (休憩)		10分		
15:05 ~15:55	5 【講演】 令和6年能登半島地震について 災害対応の実態と課題(県の視点)	令和6年能登半島地震の応援経験に基づいて、県の視点から災害対応の実態と課題を学ぶ。	50分	朝田 将 (徳島県)	・県の視点による令和6年能登半島地震の災害対応の課題や教訓を説明できる。
15:55 ~16:00	- (休憩)		5分		
16:00 ~16:50	6 全体討論(ふりかえり)	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを認識できる演習を実施する。	50分	事務局 国崎 信江 (危機管理教育研究所)	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。
16:50 ~17:00	- (閉講)		10分	(事務局)	